

# 2017 SGH通信

【2年生配布用】

No.12 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

## 日本語論文の提出について

日本語論文作成お疲れさまでした。既存教科の学習とは違う苦労があり、大変だったと思います。研究論文として完璧ではないかもしれませんが、ここで日本語論文については終了したいと思います。

【論文作成が終了したら…】

①自分の論文をもう一度、十分に見直してください。

【論文の見直しポイント】

◆【論文の本質について】あなたらしさはどこにありますか？

自分が最も強調したい点は、相手に伝わりやすく書かれていますか？

強調したい部分は、「〇〇氏も言っているように・・・」ではなく、「私は〇〇〇〇と考える」と自分の言葉で自分の主張として書いていますか？

→論文の価値は、何にどれだけこだわりを持って研究したか、で決まると言われています。借り物ではない、自分らしい結論を期待しています。

ヘッダーの編集を忘れないように!!!

②両面印刷に設定し、2部印刷（自分用・ゼミ教員用）する。

ゼミ担当の先生（評価用）に1部提出する。提出の際、文字数を記入してください。

※SGHの時間内に提出できない生徒は、朝・放課後を活用し、

11月7日（火）【最終締切日】までに提出する。

11月1日からは、日本語論文の内容をもとにプレゼン作成を行いますので、できるだけ早く提出できるように頑張ってください。

③提出の際、特に、ゼミ担当の先生方に、自分の言葉で感想とお礼の言葉を述べる。

（机の上に置いておくのは禁止）

④ゼミ担当の先生が、論文の訂正等をされ、もう一度返却されるので、その訂正原稿をPC上で最終訂正すること。【昼休みや放課後等を活用】（訂正締切：12月8日）

⑤「提出」フォルダに保存する。（保存名「0101 氏名【5領域】」）

（クラス・番号）

【5領域】欄の表記 下の7つから1つ選び入力する

⇒ 国際開発・国際ビジネス・比較教育・国際医療・環境（再）・環境（水）・環境（農）

皆さんが完成させた論文は、5領域別に「SGH課題研究論文集」として製本していきます。

後輩たちは、君たちの研究をベースにして、今後の研究を進めていくことになります。

また、ゼミ指導の大学の先生方にも読んでいただこうと思います。今回は、添削指導という形にはせず、ゼミ指導に対する恩返しとして、完成論文をお渡しする予定です。そして、本校ゼミ指導教員による論文評価を行います。評価後のループリック表は皆さんにお返しします。